

## 第6回 京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：平成26年7月25日（金） 午前10時00分～12時25分

場所：京丹波町中央公民館3階 大会議室

### 1. 開会

会 長：現地踏査に行かれた委員の方、何か指摘はあるか。

委 員：多くの委員に参加いただいた。保育所は初めての訪問だった。施設の違いがよくわかった。特に、町内全域でどのように考えていったらよいかという機会になった。

### 2. 協議事項

(1) 量の見込みと確保の方策について

(2) 運営基準の検討について

(3) 計画の構成について

(4) 保育の必要性の認定に係る基準設定について

#### 【事務局による説明】

会 長：計画の構成は、事務局としてはどのパターンがよいと考えているのか。

⇒事務局：構成パターン1であれば、前回会議で次世代計画を評価した際に頂戴した意見のとおり、数値目標がなく評価がしにくいのではないかと考える。そのため、事務局としては、パターン2かパターン3でお願いしたいと考えている。

会 長：わかりやすいのはパターン2のような気がする。計画の構成について意見はあるか。

各委員：意見なし

会 長：意見がないということで、事務局にはパターン2を使い構成いただく。就労時間は48時間を設定し、子育てしやすい環境を準備しているという解釈で良いか。

⇒事務局：そのとおりである。

会 長：確認をしていくが、量の見込みと確保方策について何か意見はないか。京丹波町としてはこれでやれるということである。補正もしてあるが、確保の方策については現状維持がその方策であるということである。続いて、運営基準の検討であるが、基準はあくまでも国に準じてということであるが、何か意見や質問があるか。

各委員：意見なし

⇒事務局：運営基準については、国に準じるということで9月議会に上程させていただく。

(5) 幼稚園及び保育所のあり方について

#### 【事務局による説明】

会 長：「下山分園をどうするのか」「須知幼稚園、上豊田保育所の老朽化についてどうするのか」「認定こども園をつくるのであれば、子育て支援センターにある短時部を認定こども園に移行してはどうか」の3点の問題点を明確にし、ご説明いただいた。それぞれの立場でご意見をいただきたい。

委 員：須知幼稚園と上豊田保育所は、部分的な改修はできないのではないかと。個人的にはどちらも建て替えをして存続してほしい。それに伴って、下山分園は廃園ではないか。認定こども園ができたとしても廃園ではないか。

- 委員：須知幼稚園は老朽化している。上豊田保育所は定員120名ギリギリで、場所も大変な所にある。できれば新しく建て替えてほしい。下山分園は改修しても利用されないのではないか。みずほ保育所と上豊田保育所は差が激しい。わちエンジェルは木造の素晴らしい建物であり、それぞれの保育所に良さがある。早急に考えるのは幼稚園の建て替えではないかと思った。
- 委員：下山地区に住んでいることもあり、下山分園の問題は複雑に捉えている。地域とのつながりがあると思っていたが、見学したら活用は難しいと判断した。施設の老朽化については、もう一度議論をしてイメージを作る必要がある。二つも建て替える力が京丹波町にあるのかどうかということもある。認定こども園をみんなで検討していく必要があると思う。また、同じ集団が、同じ地区でずっと育つというのはどうなのかという心配もある。ずっと一緒ということになれば、いじめられっ子は、ずっといじめられっ子のままだのではないか。上手く整理できないが複雑な気分である。
- 委員：旧和知町と旧瑞穂町は子どもの減少があったので統合の話が出てきたが、丹波地区は微妙である。私は和知出身で、保育所から中学校まで同じである。ただ、ずっと一つという流れがすべて悪いというわけではない。バラバラなところから来たら、いじめがなくなるわけではないと思うので、そのことで単純な判断はできない。今後の人口のことを考えると統園の議論は必要である。
- 委員：保育現場の意見としては、とにかく上豊田保育所は早く建て替えてほしい。保育環境の差が大きすぎる。目処としては、3年以内に建て替えをお願いしたい。2つは難しくても、1つでも早く建て替えてほしいというのが率直な意見である。
- 委員：個人的には、幼稚園か保育所を保護者が選べればと思うが、現実には複雑である。幼稚園としては立地条件などはよい。しかし、老朽化は皆さんが言われるとおりである。子どもの育成を考えた場合、施設や環境も非常に大事であるが複雑な思いである。しかし、主は子どもである。子どもにとって一番良いことを考えてほしいと思う。
- 委員：子どもの立場で考える必要がある。やはり、子どもが主体であるし、保護者のニーズに対応できるかということが考えるべき点である。認定こども園の制度的なことや対応できることなど把握できていないので結論が出せないが、長時間預かってほしいというニーズと午前中だけでよいというニーズが兼ね備わっているものがよいと思う。
- 委員：現地踏査で町内の施設を見て、他の教育機関と保育の現場の違いに驚いた。京丹波町として一体感を高めていく中で、将来的には何らかの方法で環境を整えていかなければならない。京丹波町の地域の現状について、どうしたらよいかということについて、工夫していったらよいのではないかと思う。
- 委員：建て替えに多くの予算が必要となるが、それはどうなのかと思う。
- 委員：須知幼稚園は老朽化が進んでいるが、幼稚園としての機能はすばらしい。上豊田保育所の諸問題が浮き上がったと見受けられた。上豊田保育所は、トイレのサイズが園児のサイズに合っていないことなどがあり、早急に改善しないと教育環境のニーズに対応できない。2箇所を同時に建て替えるということは、京丹波町の財政状況等を考えると難しいと思う。わちエンジェルの経緯を聞くと、幼稚園と保育所機能を合わせ持つことに、現状問題がないと思う。下山分園は、耐震改修だけで約1億かかるが、耐震改修だけで子どものニーズに合った施設になるかどうかは疑問である。上豊田保育所とわちエンジェルに通う

下山地区の保護者の意見を聴く必要がある。上豊田を建て替えるのであれば、下山分園の継続は考えない方がよいのではないかと思う。

委員：保護者の立場から言うと、保育所・幼稚園は自宅から近いところにお世話になりたいと思う。自宅から遠いところは不便である。各地域に保育所と幼稚園の選択ができる施設がほしいが、現時点では京丹波町にその選択肢がないように思う。災害があった時に建物に問題がある施設は、親として心配である。安心して預けられる施設がよい。建て替えに費用が必要なのはわかるが、親が安心して預けられる施設として建て替えをしてほしい。短時部があればよいと思う。

委員：他と比べると、上豊田保育所は施設的に劣る。親としては、安全で安心できる施設に預けたいので建て替えをしてほしい。須知幼稚園は老朽化も気になるし、人数も少ない。子どもにとって安心・安全に暮らせる施設を早急に作ってほしいと思う。下山分園については、惜しい施設であるが改修は難しいと思った。しかし、そこから通われている方にとっては思い入れもあると思うため、簡単に廃園とは言えないので考える必要がある。同じ条件で過ごせる短時部があった方がよい。

副会長：園によって施設に差があるのに驚いた。下山分園や上豊田保育所は、保育所として建てられたものではないと聞いていた。運動場の狭さ等が問題である。上豊田の建て替えをお願いしたい。

会長：それぞれの意見をいただいた。全体の構成図として作っていかねばいけない。一つ思うのが、教育にはある一定の効果論がある。適正な規模というものがあり、適正規模とはどのようなものかという研究として、学術的に面白い議論がある。発達段階を考えると、サッカーができる人数がいないと人間形成ができない。教育振興計画で京丹波町の実態調査を行ったところ、将来的にどうしたいかということがわからない子どもが京丹波町には多い。切磋琢磨できないと自分の立ち位置がわからないし、そのまま中学・高校へ行くと、自分が何をしたいのかわからない。そのようなことから、適正規模、適正人員というものがある。一定規模を確保しないと、今言ったような問題が起こってくる。今日はまとめをする状況ではないので、今までの意見を汲み取って、事務局はどうしたらよいか理想的な縮図の青写真を示してほしい。

## (6) その他

委員：町として子どもを増やす施策はあるのか。見込み量を見ても、人数が減りニーズも少なくなっている。年々減っているのが本当に正しいのかと思う。

会長：町として人口を増やす施策があるのか、お聞かせ願いたい。

⇒事務局：町としても危機感を持ちながら、子どもを増やすことが課題と捉えている。冊子等も作っているのもそれらもご覧いただきながらご意見をいただきたい。なお、次回会議は8月下旬から9月上旬に開く予定である。

【副会長による本日の会議のとりまとめ】

閉会